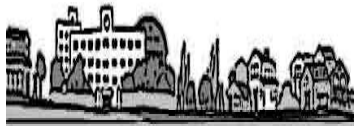




# 浜ぼうふう

～人，まち，自然が私たちの学校～



太夫浜小学校だより  
令和3年4月15日

<http://www.tayuhama-e.city-niigata.ed.jp/>

## 「ポジティブシンキング」で臨む

校長 野瀬 浩司

令和3年度がスタートしました。

昨年度同様，感染症拡大防止のため，様々な制限があり，学校の教育活動も縮小して開催されることも多くなると思われます。「新しい生活様式」を意識しながら，やるべきことを着実に，子どもたちの充実感・満足感は縮小されない方法を模索しながら実施していきたいと思ひます。

ここで，3月の卒業式の「式辞」で卒業生に対して話した内容を取り上げます。

4月の臨時休校に始まり，運動会・修学旅行の延期，はまっ子祭りや六送会の内容縮小などにより，不安に感じたり，活躍の場が減ったくやしさを味わったりしてきたと思ひます。

それにもかかわらず，みなさんは，**弱音も文句もなく，目の前の課題一つ一つに立ち向かい，何に対しても前向きに取り組む姿**を見せてくれました。「コロナに打ち勝て！」のスローガンを掲げ，応援の仕方を工夫した運動会。感染対策で行動が制限される中，ホテルの夕食時に，楽しい出し物で最高の思い出をつくった修学旅行。この2つは，まさに，コロナに負けない「**しなやかさ**」と「**たくましさ**」を感じた行事でした。

きっと，みなさんには，**予期せぬことが起きたときに柔軟に対応する力や目の前の困難を工夫や仲間との協力により乗り越えていく力**がついたのではないのでしょうか。

この言葉は，卒業した旧6年生に対するものではありませんが，「自分やクラスの課題・目標に正対し，前向きに取り組んでいくこと」の大切さは，どの学年も同じです。身に付けてほしい力は，学年やそれぞれの教育活動によって変わってはきますが，精一杯の努力が子どもたちの成長につながることも間違いありません。

現在の状況は，当面大きく変わらないと思ひます。そうであるならば，私たち教職員も，「できないこと」ではなく「できること」に目を向け，「工夫の余地がたくさんある」「ねらいを変えることにより，〇〇の力を伸ばすチャンスだ」「新しいやり方で，今よりも楽しい活動にしよう」など，「ポジティブシンキング」で臨みたいと思ひます。

令和3年度も，保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひします。



1年生：初めての給食